

平成 28 年度 地域社協運営委員研修
ちょっと困った！あなたならどうする？
～お隣のまちに学ぶ～
アンケート結果

日 時：平成 28 年 12 月 9 日（金） 13：30～15：30
場 所：武蔵野スイングホール
参加者：地域社協運営委員 66 名 一般参加者 6 名 研修実行委員 12 名
高齢者支援課 1 名 在宅介護支援センター 2 名
社協職員 5 名 （計 92 名）
アンケート配布数：75 名 回収数：38 名 回収率：50.6%

1 地域社協(福祉の会に)

- ①所属している 34 名 89.0%
②所属していない 4 名 11.0%

2 今回の研修についておききします。

(1) 本日の研修についておききします。あてはまるものに○をつけてください。

- ①とてもよかった 13 名 39.0%
②よかった 21 名 55.0%
③どちらともいえない 1 名 3.0%
④あまりよくなかった 1 名 3.0%
⑤よくなかった 0 名 0%

①とてもよかったの理由

- ・ やさしい言葉でお話しなさり良かった。
- ・ 担当者それぞれの話が聞けたことで、よく理解できた。
- ・ いま、地域の中でいちばん欲しいと感じているテーマ。
- ・ 素晴らしい活動の内容を伺うことができました。
- ・ 新たな活動者を見つけ出す方法はためになった。
- ・ 夫婦二人あてにしています。
- ・ 必要なことはよくわかった。ただ場所の獲得が武蔵野市の最大課題。
- ・ アンケートから始めるところが人材発掘につながると思った。
- ・ 活動の拠点があることがうらやましい。常時遠慮せず福祉活動ができるのは理想的。
- ・ 行政、市社協、住民、3者がしっかり組んで事業を進めている点。
- ・ 市行政がしっかりした政策を持って、情熱を持って市と社協が住民に呼びかけ、事業を実施し、活動を広げていっていることが素晴らしい。

②よかったの理由

- ・ 取組み、そしてやはり長い年月がかかり、いろいろ大変だったと思いますが、やはりやるしかないのですかね。
- ・ 具体的困りごとの事例の説明により問題点が理解できた。
- ・ 研修だから仕方ないが、講師の一方的な報告に終わったこと。活動費（お金）の質問が出たのには驚きました。
- ・ わかりやすい報告・説明で参加して良かったと思います。
- ・ 近くの街のことで、身近に感じることができた。
- ・ 7ヶ所での活動拠点で助け合いがうまくできている。新しい人材をどのように取り込むかが難しいのではないか。街の中に空き住宅や店舗が見つからない。また、あってもお借りすることが困難。活動拠点の探し方に問題。武蔵野ではどうなのか？コミセンの住民参加型？
- ・ 活動内容が聞けたので。プライバシーの問題とか金銭問題等の複雑なことがあることを知った。
- ・ 西東京市の立ち上げの取組み（アンケートが先に実施されている）にあるべき手順を見た。
- ・ 西東京市のサロンの状況がよくわかった。
- ・ 高齢世帯であり、家庭内でのちょっとしたことができない。他地区に住む息子に毎度の依頼もできない。シルバー人材に依頼するまでのことでもない、ちょっとしたことを解決する方法が私たちの地区にもあると嬉しいし、活用してみたい。
- ・ 地域課題の具体例が多く紹介されたことは参考になった。
- ・ きめ細かい活動。拠点の設置。
- ・ 具体的ですぐに取り組みそうな活動内容で参考になりました。
- ・ 市民に対する思いやり、よく伝わった。
- ・ 地域住民との交流。助け合い（困りごと）。
- ・ 他地域の状況を知ることができた。

③どちらともいえないの理由

- ・ 進行、説明がゆっくりでわかりやすかったが、もう少し深い話が聞きたかった。

④あまりよくなかったの理由

- ・ 具体例が少ない（何件か入っていると云っても）。誰でも頼んだことをやってもらえれば嬉しいものである。パワーが感じられない。

(2) 本日の研修のご感想をお書きください。

- ・ まさに私共が活動を始めている問題です。社協の中に地域福祉活動課があるといい。武蔵野市民社協でもぜひ考えて下さい。
- ・ 地域の人たちとの顔見知りや、やはり大切なのだと思います。お話をお聞きしたので少しでもと思いました。
- ・ 実際に活動している中で、自分の地域にも学べる部分がありました。地域活動をする中で、実際に情報を得ることが難しく思っていました。依頼受付の場を作ることも1つの方法かなと思いました。
- ・ 社協の役割、地域とのタイアップの必要性を感じた。
- ・ 研修は初参加です。よって多少見方がズレると思います。私は地域で活動しており、中野氏の活動は同じ経験でした。武蔵野全域で多くの方が活動していると思うので、経験、交流等は役立つと思います。
- ・ 自分たちの活動を比べることができ参考になった。
- ・ 市民と社協との細かいつながりがよくわかりました。街ぐるみで関心を持ってもらえるとう素晴らしいと思います。
- ・ 武蔵野市では福祉の会が該当すると思います。福祉の会が年間の活動で精一杯な中、アウトリーチしていくことの困難さを感じます。あらたな地域の仕組み作りが必要かと思えます。
- ・ 住民の話から生まれたところに、自信が生まれ、自分たちのものにだんだんと形式化されないか？同じ顔ぶれになってしまわないか？も課題になるであろう。センスのある人が必要だ。
- ・ 西東京市では、ふれまち活動に参加して下さる人がたくさんいらっしゃるのだと正直驚きました。私のまわりでは、地域活動に参加する人が高齢化し、若い人に広がっていかないのが悩みです。ちょっとしたボランティアということで参加しやすいのかと思いました。ボランティアに男性の参加が多いのかなとも感じました。
- ・ 他の地域のことが聞けて良かった。
- ・ 各エリアの課題がそれぞれつかめていない場合が多いと感じていた。放置しているうちに世話人も減ってしまい「仕方ない。」で済ませているエリアもある。その前に手を打たなければと強く感じさせられた。
- ・ 福祉の会だけではなかなかできないこと、コミュニティ協議会など地域の活動団体の協力がなければ、なかなか実現できない。
- ・ 各地域の活動者及び利用者的人数等、具体的な話。その利用率等、また見込みがわかりづらい。
- ・ やってみると始めることが大事だと思う。ただ、建物の耐震とか修繕とか、そうした部分まで地域が担うと踏み出せない。
- ・ 助け合いの具体的な取り組みが聞けてとても参考になりました。
- ・ 全戸にアンケートを出したのはいいと思う。

- ・ 武蔵野市のいきいきサロン活動が少しずつ始まってきている。このふれまち助け合いの要素も含めた活動になっていけばと考える。
- ・ 他地域の事例を聞くことは大切。タイムリーな講演会でした。
- ・ 高齢者への対応：市が中心となったアンケート。拠点づくり：社協が中心となって地域包括と一緒に。世代間交流：各々の活動を支えている。
- ・ 社協が地域に拠点として居場所（部屋・住宅）を借りているのは、とても良いことだと思います。社協も事務所だけではなく、複数の拠点を持つことで活動が広がると思います。（専有できる場所）
- ・ サロンの活動写真や具体的な進め方が聞きたい。苦労話や「ふれまち助け合い活動」の課題が聞きたい。家賃など経済的支援が必要と思った。
- ・ 地域の福祉活動の拠点づくり 20 居住区に 7ヶ所。できればそれぞれの地域ごとに欲しい。そのための普段の活動が大切だと思う。
- ・ 7つの活動拠点を準備できることが素晴らしいですね。借り受ける費用とか、利用する団体の費用はどうなるのか？また、ふれまちコーディネーターやボランティアの方はすべて無償でしょうか？
- ・ 私たちにとっても、とても参考になりました。
- ・ 地域住民の 1人として、ふれあいのまちづくりに参加したい。
- ・ 今後の活動、広報もしなければならぬ、とは全くのサプライズのないコメントである。地域包括支援センターの下部活動組織なのか、立ち位置がわかりにくい。
- ・ ふれまち助け合い活動を全市で取り組んでいることに驚きました。また、人材の見つけ方に様々な社協が努力されていることに感動。
- ・ 地域ごとに色々な課題を持っている。行政と地域の成り立ちの違いにより色々な仕組みがあることがわかった。
- ・ まず全市にアンケートを出し福祉に関心を持っている人を名前入りで募集し、中心を作ったこと、感動しました。後発の市がどんどん先発の市のよいところを取り入れて進む姿。
- ・ 全市にアンケートを出し、決め細かく辛抱強く懇談会を持ち、実践へ向かっていることに感心した。武蔵野市では行政の指導はあまりなく、地域住民にお任せの感があり、その差を感じた。

2. 1の設問に「②」と回答された方にお伺いします。

地域社協(福祉の会)について、以前からご存知でしたか？

①今回まで地域社協(福祉の会)という名前を聞いたこともなく、存在も知らなかった	0名	0%
②地域社協(福祉の会)という名前は聞いたことがあり、なんとなく知っていた	2名	50.0%
③地域社協(福祉の会)という名前はよく耳にしており、よく知っていた	1名	25.0%
④日ごろのボランティア活動等で一緒に活動する等、既に関係がある	1名	25.0%

3. 今後、研修で取り上げてほしいテーマ等教えてください。

- ・ ポイント制度とどのように結び付けるか、そうすることにより活動が広がるのでは。
- ・ 地域社協と地域のボランティア活動の連携。
- ・ 他地域の経験を参考にすることも大切ですが、自分たちの地域での活動経験の話合い・交流を重視してください。2月の情報交換会を楽しみにしております。
- ・ 若い方が参加しやすいためにはどうしたら良いのか。ボランティア活動に参加してほしいので。
- ・ 地域の拠点づくり。
- ・ 多人数ではなくエリアごとにお話ししてもらい、そのエリアの課題と結び付けて考えていけたらと思った。
- ・ 男性に地域に興味を持ってもらうにはどうしたらいいか。
- ・ 地域の助け合いネットワークづくり。高齢者、年少者、障がい者など、災害弱者のための発災時のネットワークによる助け合い。
- ・ 地域福祉の活動を日常活動として、一人ひとりボランティアの活動をすすめている所があったら聞かせてほしい。
- ・ 課題としてどこの市町村でも取り上げられる世代交代。次の世代を育てるにはどういう心構えが必要か等の方法を聞きたい。
- ・ 市民の本来のニーズを探って、それに対応するテーマを。

4. その他、お気づきの点等ご自由にお書きください。

- ・ 勉強の場になる時間だと思いました。
- ・ 私たちの福祉活動への取り組みをもっと身近なものにしていく必要がある様に感じました。他地域の協力も大事。活動者の高齢化が進んでいますが、若い方の力があればと思う日々です。
- ・ 市役所福祉課関連活動と社協の活動は、やり方は違っていても目指すところは似通っているものでは…。時には協働する場があってもと考えるが…。
- ・ 災害時の救助活動、日常の活動、継続的な活動が大切だと思う。
- ・ 複数の団体との横の繋がりがいいなと思います。
- ・ 西東京市の社協の意識の高さと実行力に敬服。武蔵野市の社協も頑張ってもらいたい。
- ・ 質問する場合、地域と名前を言ってから行くと良いと思う。
- ・ 社協の職員の方と今後の地域社協の最も必要とされていることは何か、ざっくばらんに話し合ってみたい。
- ・ 社協の目指す方針を積極的に打ち出してほしい。市民と一体となって。